

第9回イブニングセミナー～フランスにおける財政制度とPPP等について～ 開催報告

Japan-YWP 広報委員 栗田宗大

<開催概要>

日時:2018年11月28日(水) 16:00～18:00

会場:中央大学理工学部2号館8階2841号室

講師:加藤裕之 博士 (公財)日本下水道新技術機構 下水道新技術研究所長

主催:Japan-YWP

プログラム:

16:00～18:00 講演会およびディスカッション

18:30より後楽園近辺で懇親会

<開催報告>

本イブニングセミナーでは、2018年2月に加藤博士が実施した、フランスの下水道制度やPPP制度に関する現地調査で得られた知見について、ご講演いただきました。YWP会員に加えて自治体関係者や学生の参加もあり、総勢40名で会場も満員となりました。

講演では、フランス下水道における公共サービスの民間委託(DSP)は事業体全体の2割ほどであり、大規模設備投資を業務内容に含まない「アフロマージュ契約」が主流であることなどの調査結果が紹介されました。また、職員の雇用が後継民間事業者へ継承されることが規定されており、このような制度が労働者だけでなく技術継承にもつながっている点も話題になりました。「官」と「民」の事業切り分けに関しても、「民」に任せたいほうがより質を向上できる部分(人材確保や品質・持続的サービスなど、自治体によって状況は異なる)を評価するプロセスがあり、官と民の強みをいかにさせるように仕組みが整えられている点も紹介されていました。

質疑応答では、コンセッション方式の問題点に関する質問に対して、「役割分担と達成すべき水準が曖昧な場合は失敗する」などの回答がありました。改正水道法成立前のイブニングセミナーとなりましたが、これからの水事業に関して、多くの議論を交わすことができました。



写真1 会場の様子



写真2 ディスカッションの様子